

第34回

うつのみやこども賞だより

平成29年度 2回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》 『時知らずの庭』 小森香折／著（BL出版）

～読んだ本の感想より～



- 時知らずの庭に生えている植物はどれも不思議で、本当に時間が止まったかのような気持ちでした。
- ホップのぼうけんが素敵な言葉でかいてあってよかったです。
- 不思議な庭の不思議な植物達がホップにいろいろなことを教えてくれる所が、おもしろくて、どんどん読み進められました。
- 庭師の見習いになったホップがモドリ虫を退治したり、夜泣きニンジンを追いかけるのがおもしろかったです。
- 本当に時知らずの庭がそんざいしていれば、いつてみたいです。
- 色々な不思議な植物や、虫がでてきておもしろかったです。

『チキン!』 itoumiku／著（文研出版）

- 真中さんは最初きつい人かと思った。でも本当はやさしいということがわかった。
- おたがいせいかくはちがうのに、おたがい仲良くできていてよかったです。
- 最後真中が引っこしてしまって残念だったが、日色が成長できてよかった。
- 拓が真中さんにふりまわされてかわいそう、と思いました。でも、最後は真中さんと拓は仲が良い（深い絆）があると思いました。
- 日色がチキンからヒーローになってよかった。
- 現実でもありうるようなことがかかれています、共感できた。

『遠い国から来た少年』 黒野伸一／著（新日本出版）

- ロボットのような人間やジローの生まれた国のことが気になった。
- こんなふうなクライマックスだからこそ、いろいろな想像ができて逆におもしろいなぁと思いました。
- クラスメイトがむしをしているなか、山本君に声をかけたマサがすごいなと思った。
- おたがいにみとめ合う事ができて良かった。
- ジローはレオとマサのけんかを止め、仲直りさせてくれる思いやりのある人だと思ったからです。
- マサがジローをかばっていくうちに仲が深まっていく様子がおもしろかった。

『はっけよい雷電』 吉橋通夫／著（講談社）

- ながくてよみごたえがあり、太郎のためらいがおもしろかった。
- 昔の人達のきびしい関係の中で成長していく太郎吉がすごいと思った。
- タイムスリップしたからこそ味わえるその時代の決まりなどとむきあい苦労しながらも、切りぬけていくのがおもしろかった。
- 文章や会話から雷電の強さややさしさが伝わってきました。
- 人は見た目ではなんなんではいけないんだと思った。人と人は時代をこえてもつながっている。すごいなと思った。

平成29年7月2日